

# 講 義 要 項

授業科目		解剖生理学Ⅱ(呼吸器系・循環器系・血液・免疫系・体温調節機能)		担当者	口岩 聡
区 分	単位数	時間数	授 業 形 態		履修年次・前/後
	1 単位	30 時間	講義		1年次・前期
授 業 目 標					
呼吸器系、循環器系、血液・免疫系の構造と機能、および体温調節機能について理解できる。					
単元名	目 標	内 容	時間	単位	授業方法
1. 呼吸器系の構造と機能	呼吸器系の構造と機能について理解できる	1. 呼吸器の構成 2. 上気道 3. 下気道と肺 4. 胸郭・縦隔 5. 内呼吸と外呼吸 6. 呼吸器と呼吸器運動 7. 呼吸気量 8. ガス交換とガスの運搬 9. 肺の循環と血流 10. 呼吸運動の調節 11. 呼吸器系の病態生理	9		講義
2. 循環器系の構造と機能	循環器系の構造と機能について理解できる	1. 循環器系の構成 2. 心臓の構造 1)心臓の位置と外形 2)ポンプとしての心臓 3)心臓壁 4)心臓の血管と神経 3. 心臓の拍出機能 4. 末梢循環系の構造 1)血管の構造 5. 血液の循環の調節 1)血圧 2)血液の循環	8		講義
3. 血液系の構造と機能	血液系の構造と機能について理解できる	1. 血液の組織と機能 2. 赤血球 3. 白血球 4. 血小板 5. 血漿タンパク質 6. 血液の凝固と繊維素溶解 7. 血液型	4		講義
4. 免疫系の構造と機能	免疫系の構造と機能について理解できる	1. 生体の防御機構 1)非特異的防御機構 2)特異的防御機構 3)生体防御の関連臓器	6		講義
5. 体温調整機能	体温調整の機能について理解できる	1. 熱の出納 2. 体温の分布と測定 3. 体温調節 4. 発熱	2		講義
			修得試験	1	1
参考文献等	1. 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能(1), 解剖生理学, 医学書院. 2. 青山 弘訳: 人体カラーアトラス ソフトカバー版, 総合医学社. 3. 西永 裕著: 図説 人体の不思議Ⅰ 血液と臓器の小宇宙, 秀和システム. 4. 養老 孟司監訳: 生きている人体, 時空出版株式会社. 5. シルベール・ペロル著: からだの本 はじめての発見, GAKUYOSHA.				

評価	<p>1. 単位修得試験 2. ネット解剖学カラーリングテキスト 南江堂</p>
備考	<p>授業を受けて理解できなかった点は、そのまま放置することがないようにしてください。解剖学用語が理解されないと、授業について行けなくなります。自分が理解できなかった事は、教室の仲間と議論し、解決を試みてください。それでも理解できなかったら、気軽に質問してください。メールでの質問も受け付けます。 (<a href="http://www.kuchiiwa.jp/info.html">http://www.kuchiiwa.jp/info.html</a>)。配布されたプリントを整理して、自分なりのノートを作成してください。 実務経験：大学教育において豊富な授業経験を活かした授業を行う。</p>